

イクメンパパの子育て奮闘記!

今年3月に第一子が誕生した遠藤工業(株)の吉岡祐紀さん。会社や同僚の協力を受け、育休を約2カ月半取得し、家事に子育てに奮闘しました。現在、お子さんは生後7カ月。パパは今日もがんばっています。

★産後の子育てを気にかけてくれた上司や同僚

新型コロナの影響で私と妻の両親どちらも出産後に手伝いに来ることができませんでした。そのため、出産と同時に育休を取得できないかと考えていました。

実は社内の男性育休取得実績を知りませんでした。そのため、上司に相談するときはちょっと不安な気持ちもありましたが、いざ相談してみると即答で「もちろんOK」の返事が！しかも、「そんな短くていいの？」とも言われました(笑) 同僚からも「育児頑張れ！」と声をかけてもらいましたし、総務担当からは、制度や手続きなども丁寧に説明してもらいました。

そのことを妻に伝えると本当に喜んでくれたことを覚えています。社内では日頃からコミュニケーションをよくとっていたので、相談しやすかったのだと思います。

★育児は24時間休みなし

育休中は妻と協力して家事と育児を行いました。以前から、炊事・掃除・洗濯は妻と分担していたので、一から全てを覚えるということはなかったのですが、あらためて思い返すと、あつという間の育休期間でした。

夜泣きは常に妻と2人で付きっきりで対応していましたので、育児は24時間休みなしを身をもって体験しました。そのために育休を取ったので、当たり前かもしれませんが、妻からは感謝されました。今でもオムツ交換や休日の炊事など、育児や家事には積極的に関わっています。

もうちょっと子どもが大きくなったら、公園にも遊びに行きたいですね。そのためにも、早くコロナ禍が収束してほしいです。



技術本部 商品技術部
吉岡祐紀さん
入社10年目。今年3月に第一子が誕生し、育休を取得。

★子どもの成長は早い。今しか味わえない喜び!

育休期間中は24時間一緒にいたので、日に日に大きくなっていく我が子を見ることができ、本当に良かったと思っています。「また手足が伸びたなあ」とか(笑) 会社に復帰した今は、週末くらいしか子どもとじっくり触れ合えませんので、なおさら実感しています。

子どもの成長は早いですね。今しか味わえない喜びだと思いますので、本当に育休を取得して良かったと思っています。まだ男性の育休取得は少なく抵抗がある人もいますが、子どものため、家族のために検討してみたいかでしょうか。そのためにも、市には「つばめ子育て応援企業認定制度」の継続と充実を図っていただきたいですね。



遠藤工業株式会社
燕市秋葉町 3-14-7
「つばめ子育て応援企業」認定第1号

取締役
経営管理部長
榎本 克己さん (写真左)

経営管理部 総務・経理グループ
リーダー
若林 雄太さん (写真右)

「つばめ子育て応援企業」認定第1号!
子育てを応援している企業に聞きました。

「育休制度と育休取得に対する会社の考えを教えてください。」
基本的には国の制度に則った規定になってはいますが、お子さんが、1歳6カ月になるまでは無条件で取得できるようにしました。会社としては、対象者が希望するようであれば、気兼ねなく育休を取得してほしいと思っています。少子高齢化が進む中、企業としては子育てしやすい環境を整えるべきだと考えています。

新潟県の「ハッピーパートナー企業」と市の「つばめ子育て応援企業」に認定されていますので、会社と育休取得者に助成金が出るのは、ありがたいですね。

「育休取得者は何人いらっしゃいますか?」
男性は2017年から5人です。これは対象者の約4割が取得していることとなります。総務担当では、対象者が分かった時点で本人に制度の説明を行っています。1カ月単位で取得し、長い人だと3カ月間取得します。

その間は、部署内で柔軟に人員をやり繰りし、必要があれば、育

休期間中でも出勤してもらっています。お互いに納得した上で進めていますし、早めの連絡・相談で、特に問題は発生していません。部署によって取得しづらいということもありません。育休に限らず有給休暇を取りやすい会社だと思っています。

「育休制度を充実させることでメリットはありますか?」
今の若い人たちは、就職活動で企業の福利厚生を重要視します。当社としては、育休制度を積極的にPRしているわけではありませんが、会社のイメージアップには繋がっていると考えています。

また、実際に育休を取得した社員からは「会社や上司・同僚の理解があり、育児・家事に専念できた」という声も寄せられています。会社への帰属意識に繋がれば嬉しいことです。

これからは、男性の育休取得が更に当たり前の時代になると思います。

「育休制度以外でも「働き方改革」などで実践していることはありますか?」

働き方に対する考え方が多様化している中で、それらに配慮される人事制度などの検討にも取り組んでいます。

また、今般のコロナ禍でリモートでのやり取りが増えています。海外営業に携わる社員にとって、フレックスタイム制の導入なども働き方改革につながっていくと考えています。

コロナに限らず、変化し続ける社会の中で、いかに柔軟に対応していくかが今後更に重要になっていくのではないのでしょうか。



工場内の様子。育休取得者をはじめ、日々の通常業務においても柔軟な人員配置により、休暇を取得しやすい環境整備に努めています。

●「つばめ子育て応援企業」の認定を受けている企業一覧 (令和2年10月19日現在)

認定No.	企業名	所在地	業種	認定区分
1	遠藤工業株式会社	秋葉町 3-14-7	製造業	★★★★
2	株式会社ハセテック	八王寺 2628	製造業	★★★★
3	大河津建設株式会社	分水あけぼの1丁目 1-72	建設業	★★★
4	学校法人真学園	灰方 726	その他	★★★
5	株式会社氏田組	分水あけぼの1丁目 1-72	建設業	★★★★
6	株式会社ツボ工	幸町 8-4	製造業	★★★
7	株式会社ツノダ	吉田下中野 1535-5	製造業	★★★★

※1 育児休業制度。通常、子どもが1歳を超えた場合、育休を取得するには条件が発生する。
※2 イクメン応援プラスを上乗せ認定された場合、会社と育休取得者に各5万円が助成される。